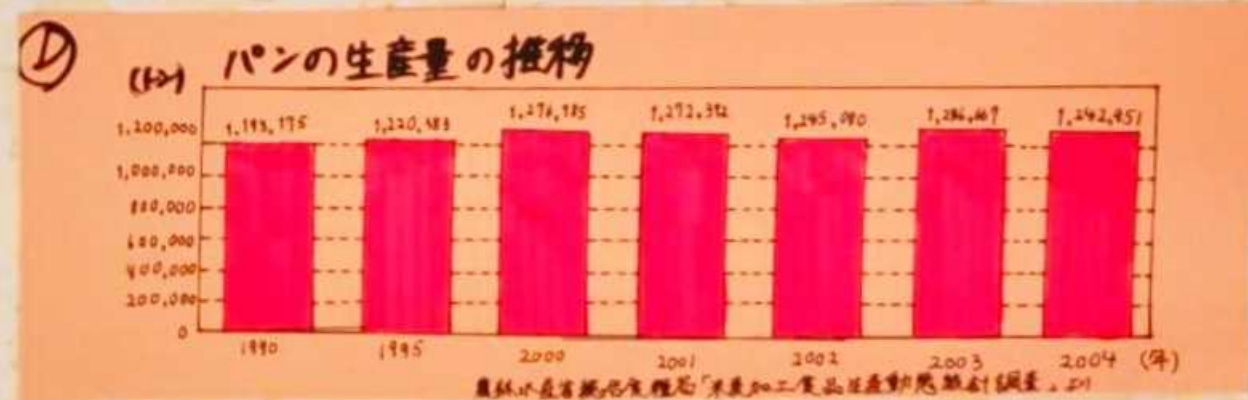
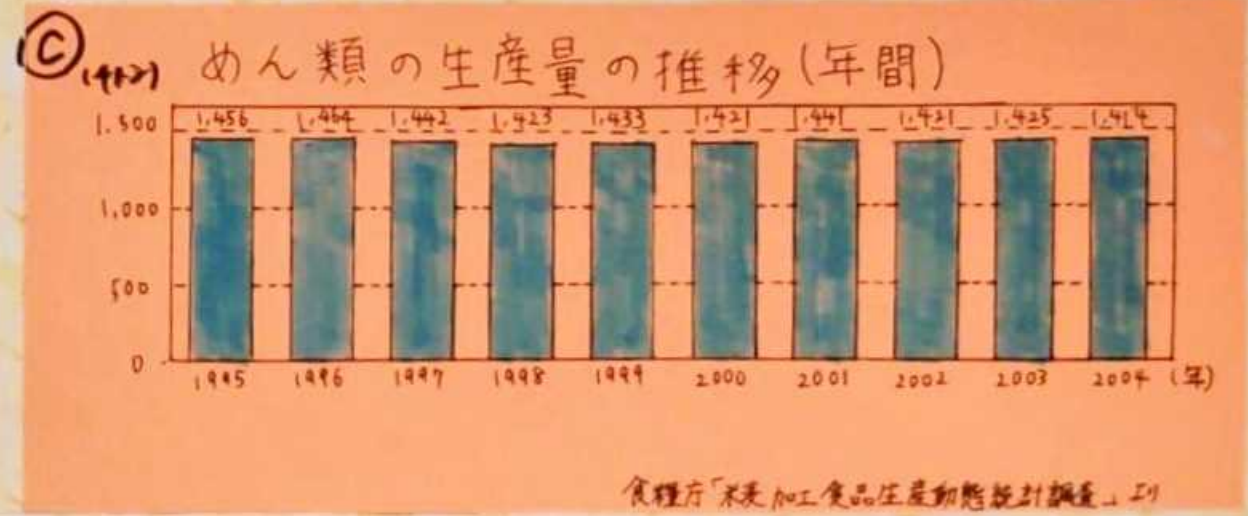
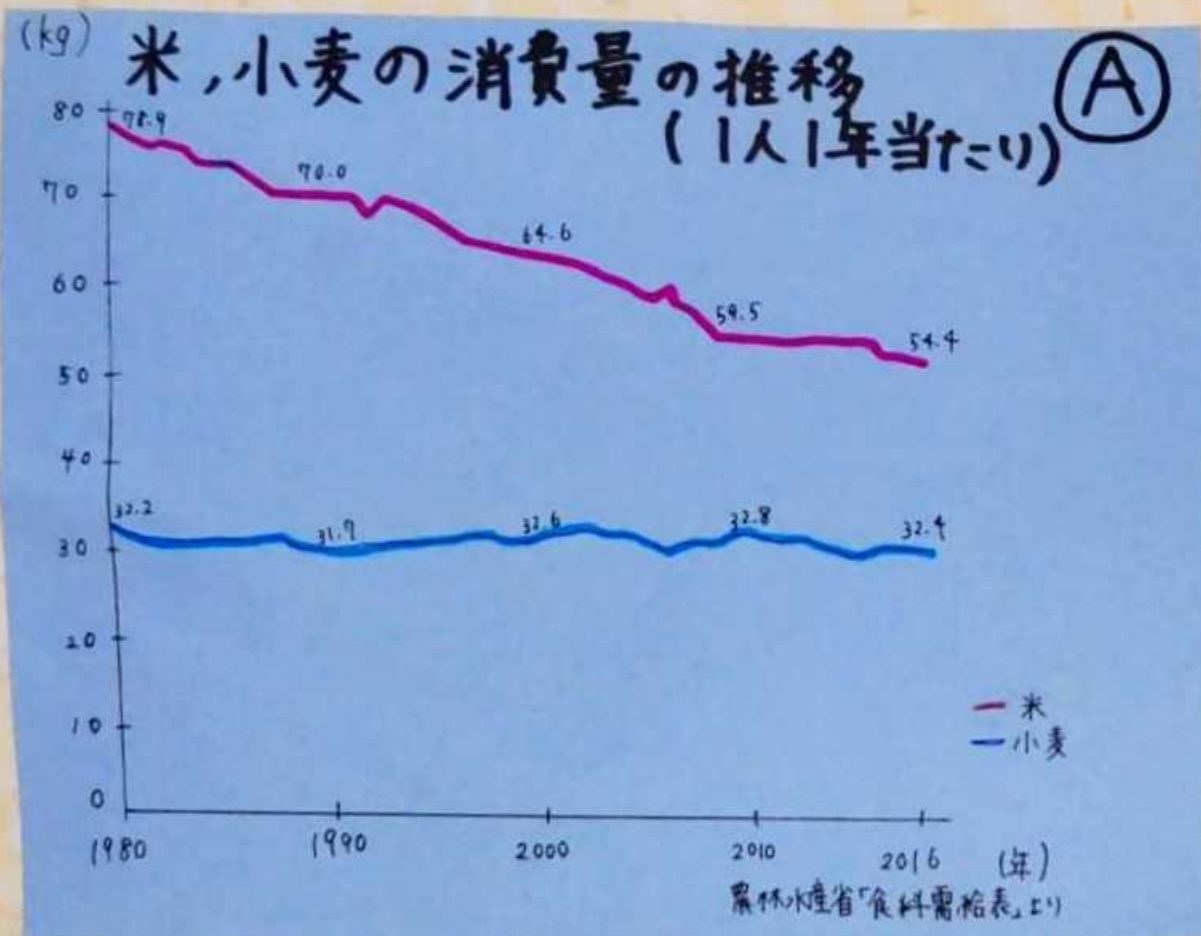


日本の米ばなれ事情

【動機】

地理の授業で、日本は米離れしていると学習した。昔から日本の主食といえは「お米、ご飯」であった。実際、私たちの班員全員朝ごはんはパンで、日本人の食生活は「ご飯に限らなれ」のではないかと、思い、では日本ではどういふ風に、どのくらい、米離れが進んでいるのか調べることにした。



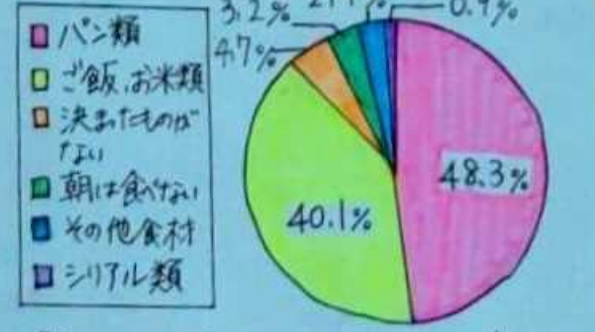
B 家で食べるご飯の量の変化について



「変わらな」が34.6%と他の項目よりわずかに多かったが、やや減った、かなり減ったの減少傾向の人は55.2%と半数を占めている。お米の消費量が減ったことは、日本人の感覚にもあらわれていることがわかった。

グラフAより、1980年から2016年にかけて1人当たり年間の米の消費量は78.9kgから54.4kgと約3分の2に減少していることがわかる。ここから、日本人の米離れが進んでいることがわかるが、では代わりに何を食べているのだろうか。グラフA、C、Dから小麦、パン、麺の消費量があまり変わっていないことがわかる。パンはわずかながらも増加しているが、麺は減少傾向にある。米ばなれはなぜ起きているのか、次のグラフで見えてきた。

E 朝食に何を食べるか?



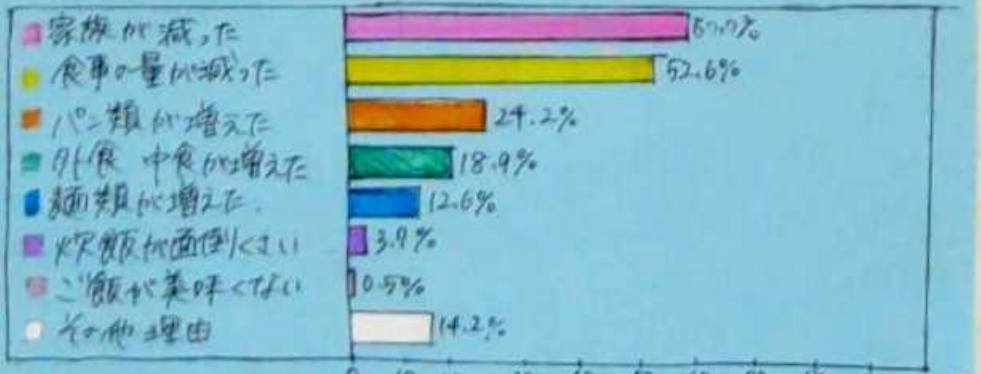
昔から日本の主食と言われてきた「ご飯」を食べる人の割合はパンを食べる人の割合に抜かされ約40%にとどまっていることがわかる。また、「ご飯とパン以外の人が11.6%と、食の多様化が見られる。

グラフEに、シリアルを食べる人が全体の0.9%いた。そこで、グラフFを見てみると、グラフFの量が2004年の2016年にかけて約1倍と大幅に増加していることがわかる。私たちが班員4人毎朝グラフEを食べることも、この数に間違いはないだろう。

F 朝ごはん、コーンフレークの年間総消費量



G ご飯を食べる量が減った原因は何?



米離れの原因として、60%の人が「家族が減った」を挙げている。核家族化や少子高齢化社会を反映していることが予想される。また、52.6%の人が「食事の量が減った」と答えている。9ヶ月や、1日の食事を3回から減らしたり、野菜だけを食するパシリアンの増加など「最近では」ほど目にする食生活の変化が影響していると考えられる。

【まとめ】

以上のことから日本の米離れは現在進んでおり、理由としては、日本の少子高齢化や核家族化、人々の健康に対する意識の変化が言えると思う。私達は、この事実に対して米が全く食べられなくなるのは良くないと思うが、食の多様化であたり、時代の流れに合わせ新たな食文化が生まれたことは決して悪いことではないと考える。

【参考資料】

BE.G → 4V-トランス株式会社ホームページ
A.C.D → 農林水産省より F → 日本スター・シリアルズ協会 食糧庁

BE.Gのアンケート対象: 女性42.2% 男性57.8%